

<斑点米規格に関する消費者アンケート ご協力のお願ひ>

最近ミツバチの大量死や赤とんぼの減少が問題になっています。ミツバチの大量死の理由はまだわかっていませんが、原因の一つとして疑われているものに水稲のカメムシ防除のために散布されているネオニコチノイド系殺虫剤があります。

カメムシ防除の殺虫剤はカメムシ発生面積のおよそ 3 倍の面積で散布されていますが、このように大量に散布されるのは、農家が米を出荷するとき受ける検査で等級が落ちないようにするためです。カメムシによる斑点米など着色粒が 1000 粒に 1 粒ならば一等米、2~3 粒混じれば二等米に等級が下げられてしまうからです(一等米と二等米では 60kg あたり約 1000 円の価格差)。カメムシに汁液を吸われた米粒には黒い斑点が残りますが、食べても安全性にはまったく問題はありません。みかけの問題でしかない斑点米ですが、精米(玄米から白米に)するときに、色彩選別機を使って取り除くことができます。しかも、二等米では農家の手取りが低くなるのに、斑点米を取り除いて消費者に売られる「もと二等米」の価格は、一等米と変わりません。

私たちは農家に農薬散布を強いて環境汚染を招いている斑点米規格を米の検査から削除するよう求めているところです。

そこで消費者のみなさまのご意見を知りたく、アンケートを実施することにしました。

ご協力のほど、お願ひ申し上げます。 また、賛同団体も募集中です。

アンケート集約は6月末日です。集約団体宛にお送り下さい。

2009年4月20日

「米の検査規格の見直しを求める会」

<賛同団体> 4月20日現在

生き物共生農業を進める会

提携米研究会

日本不耕起栽培普及会

主婦連合会

日本消費者連盟

日本有機農業研究会

反農薬東京グループ

食政策センタービジョン21

問合先：「米の検査規格の見直しを求める会」

電話 045-962-4958 (安田) E-mail vision21@ps.catv.ne.jp

☆裏にアンケートがあります。よろしくお願ひ致します☆

米の検査における着色粒（カメムシ斑点米）に関する消費者アンケート

居住 _____ 県 _____ 性別 _____ 男性 ・ 女性 _____

最近ミツバチの大量死や赤とんぼの減少が問題になっています。原因として水稻のカメムシ防除のために大量に散布されている農薬が疑われています。この農薬使用を助長しているのがお米の見た目を重視する検査規格です。そこでお尋ねします。

<質問> （該当するほうに○を付けてください）

1. 農家が農協に出荷するとき受ける米の検査で、カメムシによる斑点米（カメムシに汁液を吸われ黒い斑点が残った米）の規格があることを知っていますか。

知っている 知らない

2. 斑点米が1000粒に1粒ならば一等米、2~3粒混じったら二等米（一等米と二等米では60kgあたり約1000円の価格差）に等級が下げられてしまうことを知っていますか。（茶碗一杯は約3000粒）

知っている 知らない

3. 米の検査で等級が下がることを避けるために使用されるカメムシ防除の農薬が、水田で使用される殺虫剤のなかで一番使用量が多いことを知っていますか。

知っている 知らない

4. 斑点米は食べても安全性にはまったく問題はありません。見かけの問題でしかない斑点米ですが、精米（玄米から白米に）するとき、色彩選別機を使って取り除くことができます。しかも、二等米では農家の手取りが低くなるのに、斑点米を取り除いて消費者に売られる「もと二等米」の価格は、一等米と変わりません。

消費者として米の検査項目に「着色粒」の項目があることをどう思いますか

不要である 必要である

ご協力ありがとうございました。

<アンケート集約先>

名称：

住所：

電話：

集約締め切り：2009年6月末日